



農業委員会だより

No. 35 2024年3月発行
編集/発行 本別町農業委員会
会長 牧田 安史
本別町北2丁目4番地1 TEL22-8125

農業委員会だより発行にあたり

本別町農業委員会会長

牧田 安史



日ごろから農業委員会の業務に
対しまして、町民の皆さま、農業者、
関係機関の皆さまには、ご理解とご
協力を頂いておりますことに、衷心
より厚くお礼申し上げます。

令和6年の幕開けと共に、能登半
島での大地震、そして翌日の航空機
炎上事故で、一体今年はどのような
年になるのだろうか？ と不安に感
じた方も多かったと思います。亡く
なった方々にお悔やみ申しあげま
すと共に、いまだ不自由な生活を強
いられているであろう皆さまが安
定した生活を取り戻すことができ
ますようにお祈りいたします。

現在、食料・農業・農村基本法の
改正が進められています。農業人口
の減少と高齢化、さらには国際環境
の大きな変化による資源の高騰化、
不安定化に対応し、10年先、20年
先を見据えた政策が立てられてい
くようです。また、同法の改正に先
立ち、昨年4月に改正農業経営基盤
強化促進法が施行されました。この
法律のもとでは農業委員会が扱う
賃貸、売買は「農地中間管理機構（北
海道農業公社）」を通して行われる
ようになります。これは令和7年4
月から適用されます。

来年に向けて本別町が「地域計
画」を作成し、農業委員会が「目標
地図」の作成を進めますが、農業者
の皆さま、農地所有者の皆さまの意
見を十分伺いながら取り組んでい
きますので、ご協力をどうぞよろし
くお願いいたします。

春の農作業も間近となりました。
豊穣の秋に向け期待と希望を持つ
て取り組めるのも農業の魅力の一
つだと思います。これからの農業シ
ーズンが事故、怪我なく家族仲良く幸
多い年となりますよう祈念し、発行
にあたってのご挨拶いたします。



農業経営基盤強化促進法改正に伴う農地移動の取り扱いについて



上記法改正に伴い、地域計画の策定が法定化され、令和7年4月より地域計画に沿って農地の集積が進められます。地域計画に掲載された担い手へ国の施策が集中されます。

地域計画では、農地の集約化を進めるべく10年後の目標地図を作成。農地の移動は農地中間管理機構（北海道農業公社）を通し、目標地図に沿って、農業委員会による利用調整により進められます。計画に掲載されていない農業者にはL資金などの優遇制度が受けられなくなります。相続など一部の例外を除いては、農地法第3条による農地の移動は制限が考えられます。

1. 地区別農業委員研修会

令和5年11月24日に幕別町百年記念ホールにて農業委員の研修を行いました。5月から新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことを受け、約4年ぶりとなる全体研修となりました。

初めに、帯広畜産大学の森岡昌子助教から「鶏糞たい肥と鶏糞灰のライフサイクルアセスメントを用いた堆肥の流通に必要な課金額の資産」と題し、講演いただきました。昨今の肥料高騰の観点と養鶏業の糞の問題から、鶏糞を焼却発電し、減量化することで輸送量の軽減を図り、畑への還元を目指す考え方です。問題点としては、養鶏業者が千歳方面に集中しているため、遠方への輸送は環境負荷の懸念があります。

北海道農業会議からは、令和7年4月から適用される改正農業経営基盤強化促進法も含めた話をいただきました。

2. 本別町農業委員会管外研修

12月7日と8日の両日、札幌および北広島方面にて研修を行いました。

1日目は北広島市にあるクボタアグリフロントを見学しました。この施設は「食と農業の未来を志向する仲間づくり」をテーマに、時代を担う若者たちへもっと農業や食に興味・関心を持つてもらうために作られました。施設内部はシアター、フィールド、屋内栽培、クロージングの4つのエリアに分かれ、地球環境問題から作る、売る、食べることを通して農業経営まで分かり易く学べる施設となっています。特に屋内栽培エリアでは、未来的な最先端技術を駆使した栽培が印象的でした。AI技術によって光、水、温度、養分等が管理され、ロボットによりレタスが栽培されていました。「収穫物は販売されておらず、自社レストランのみで食べられます」と説明がありました。時間の関係で味見はできませんでしたが、いつの日か自然災害を

受けない農業の時代が来るのではと感じた研修でした。

2日目は、北海道農業会議の乾氏から、①改正農業経営基盤強化促進法等への農業委員会の対応、②地域計画策定についての説明を受けました。①は農地バンク事業をメインとする改正②は10年後の地域農業の設計図（目標地図）の作成についてのお話をいただきました。



北海道農業公社の林氏から農地売買等事業について、同法改正に伴う農地売買の流れについて、福島氏からは農地中間管理事業について、農用地利用集積等促進計画作成、認可の流れについて説明を受けました。活発

本別町賃借料情報

農地法第3条、農業経営基盤強化促進法及び農地中間管理事業で賃借された本別町の実勢賃借料を集計しましたのでご活用ください。

R5年1月～12月に許可・公告した賃借料

	最高金額	最低金額	平均金額	契約件数
第1地帯	13,000円 (10,290円)	3,000円 (3,000円)	10,140円 (8,600円)	18件 (9件)
第2遅滞	13,000円 (11,000円)	3,000円 (3,000円)	9,540円 (8,240円)	14件 (4件)
第3地帯	9,400円 (9,400円)	3,970円 (3,970円)	5,980円 (5,950円)	7件 (5件)
牧草専用地帯	なし (なし)	なし (なし)	なし (なし)	なし (なし)

(下段カッコ内は農業経営基盤強化促進法及び農地中間管理事業での賃貸)

に質問も出て時間が足りないほどでした。

現時点で検討中の内容もあり、情報が入り次第、お伝えしてまいります。

3. 市町村農業者年金協議会

代議員等研修会

2月6日、池田町において市町村農業者年金協議会代議員等研修会が開催されました。

北海道における被保険者数は全国の32%を占め、14,276人で、そのうち女性は30%の4,272人となっております。

本別町では、令和5年度は12月までに2名の加入者があり、被保険者数は現在144人、うち女性は32%の46人です。

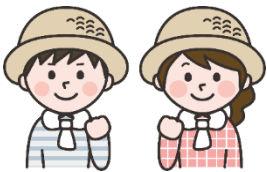


農業者年金は、20歳以上の農業従事者で国民年金と付加年金加入者であれば加入が可能です。平成14年に「積立方式」で「確定拠出型」の新制度へ変わりました。これは、自分が受け取る年金原資を自ら積み立て、積立額と運用実績により受け取る金額が決まる制度です。

国民年金付加年金は月額400円で加入できます。いずれも社会保険料控除を受けることができ有利です。後継者などで要件を満たせば政策支援で保険料の一部を国費が負担する制度もあります。

令和4年に改正され、①後継者の配偶者などで35歳未満の方等は月額1万円から加入可能②年金受給の開始時期の選択肢が拡大、③加入可能年齢が国民年金に併せて引き上げられるなど、より加入しやすくなりました。

将来の自分たちの生活が少しでも安心と余裕がもてることを考えてはいかがでしょうか？



グリーンサポートセンターからお知らせ

本別町グリーンサポートセンターは町内の独身農業者へ各種事業を行っています。

本別町出会いの場創出事業の連携協定式が令和6年1月25日、役場で行われ、町農業委員会等と帯広信用金庫が協定を結びました。



の連携協定式



牧田
会長

高橋
理事長



詳しい内容はQRコードでご覧ください

おびんキュービット結婚相談所は、十勝管内で結婚を望む人へ、お相手のご紹介・お見合いのお手伝いを行うことにより良きパートナーとの出会いと結婚のサポートを行っています。



<https://www.shinkin.co.jp/obishin/relationship/marriage/>

■婚活傾向適性診断

自分の傾向や適性は？
無料で診断ができます。

■交流会への参加奨励

十勝管内の独身農業青年交流会への参加負担金を半額助成。

■オンライン婚活イベント

北海道コンカツ情報コンシェル主催情報を紹介

◇他にも、セミナー開催や結婚相談サービスなど、登録者へご案内します。

あなたにぴったりの
コンカツ方法を
提案いたします！



詳しい情報はQRコードでご覧ください

連絡先
本別町グリーンサポートセンター事務局
町農業委員会 ☎22-8125

元気な女性の 雑感

高長根くるみ

(拓農、JA本別町)

フレッシュミズ会長)

私は現在JA女性部フレッシュミズに所属しています。さらに今年度は会長も務めさせていただいています。当初は私で務まるのだろうかと不安もありましたが、フレッシュミズのメンバーに支え協力してもらいながら、楽しさを感じつつも充実した1年を過ごすことができています。

現在フレッシュミズメンバーは15名前後で農業経営者または後継者のお嫁さんで構成されています。今回はそんなフレッシュミズの活動をお伝えしたいと思います。

活動としては農作業が落ち着いている頃を目安に仕事・子育てのリフレッシュになればとさまざまな行事を考えています。

【6月・学習会】

帯広等から講師を招いて学習会を行っています。今年度は真っ白なお皿やマグカップにシールで模様を貼り付けて作るポーセラーツに挑戦しました。たくさんのオリジナルの食器が出来上がり、個性が光っていました。カラー診断を行ってもらい、「今まで挑戦した事のない色の服に挑戦することが出来た！」など好評な学習会となりました。



【夏休み・子どもとの日帰り研修】

夏休みを利用して子供たちとお出掛けします。今年度は釧路のノロッコ号に乗ってきました。ノロッコ号で食べるおにぎりはいつも以上に美味しく感じました。以前には北見のファミリールンドや釧路の遊学館などにも行きました。



【三町交流会】

本別町、足寄町、陸別町の三町で交流会を行っています。ヨガやリース作りを通して農業や子育てという共通の話題で年に一回の顔合わせですが、笑いの多いひとときを過ごすことができています。

【1月・学習会】

今年度はゲンキッチンにて焼き餃子と皮から作る水餃子作りに挑戦しました。モチモチに仕上がった水餃子は昼食のスープになり、つついとおかわりしてしまつほど美味しく出来ました。お土産として持ち帰った焼き餃子は我が家の子供たちに大人気です。「お母さんの餃子美味しいね♡」と好評でした!!



このように1年を通してやってみたいという会員の思いを形にしながら企画しています。今後も家族の協力を得ながら、仲良く笑い合える仲間と楽しく活動していきたいと思っています。興味のある方は是非一度参加&見学してみてください。お待ちしております。

編集後記

今年は年明けから、能登半島地震や羽田の航空機事故と大変な事態が起きました。被害に逢われた方々には心よりお見舞いを申し上げます。

さて昨年は、コロナ感染症の5類移行により人の流れがほぼ戻り、活気ある一年となりました。一方、農業に関しては、営農設計の段階から肥料も含めた全ての資材の高騰を受け、大変厳しい一年になると予想されましたが、夏から秋にかけて経験したことのない異常高温により、農作物の被害や牛の乳量低下など、多大な影響が出ました。しかし、年が終わってみれば十勝の農業販売額は歴代2位。酪農関係の販売額は減少しましたが、小麦、ばれいしょ、大豆など主要作物の収量増加により、全体の販売額を押し上げました。あれほど異常な環境にもかかわらず増収したことは、これまでの技術蓄積の賜物だと思います。

今年も、農業を取り巻く環境は好転するとは考えられません。どんなことにも浮き沈みがあります。今は耐える時期ですが、これをきっかけに、再度経営の見直しや新たなことに挑戦するなど、さらなる経営基盤の強化を考える必要があるかもしれません。これらの一年が平穏になることを心から願います。